

One Peace - 心につるを折ろう

詞：原田幸子

曲：瀬良博文

ぼくは いつも おもってた あのも える あさ どれく
 らい おおく の ゆめが もえ つ きたの だろ う
 かわぎしを あるきながら あしたのやくそくを した - ど
 んなにくるしい ときも あさは くとしん じ - ていた
 - - ワン ピース ぼく の このてはま
 だ ちい さい けれど ワン ピース ころろ は どこまでも
 じ ゆうにとべ るん だから ちきゅうという おなじほしにたち-あ
 おいそらに とばすつる を おろう -

1. ぼくはいつもおもってた あのもえる朝
 どれくらいおおくの夢が 燃えつきたのだから
 川岸を歩きながら 明日の約束をした
 どんなに苦しいときも
 朝は来ると信じていた

2. ぼくは今日も思ってる 祈りの火の前で
 こんなにも多くの願いが なぜ届かないのだから
 この国でも 彼(か)の国でも 人の重さは同じ
 明日を信じる生命(いのち)を守りたい
 そこに理由(わけ)はいらない

Ref. ワンピース

Ref.

ぼくのこの手はまだちいさいけれど
 ワンピース
 心はどこまでも自由にとべるんだから
 地球という同じ星にたち
 あおい空にとばすつるをおろう

